

平成30年度の重点課題

○立ち幅跳び、ボール投げの記録で県平均、全国平均を下回っている児童が多い。長座体前屈の記録は、昨年度より改善しつつあるが、まだ柔軟性に課題のある児童がいる。

○学級児童数が減少し、場を設定しなければ集団遊びをするのが困難である。

○学校や家庭で体を動かす時間が十分とれていない実態がある。限られた休憩時間を有効に活用する必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○授業はじめに体づくり運動を取り入れ、意図的に柔軟性の上がる運動を行う。

○業間体育のサーキット運動で投力、走力を伸ばす動きを中心に行った。

○集団遊びの回数を前年度より増やして行っている。

平成31年度新体カテストの結果（県平均値（平成30年度）・全国平均値（平成29年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシットルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシットルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	8.00	11.50	28.50	31.25	27.33	11.67	115.25	6.75	33.67	第1学年	6.75	11.50	30.50	29.25	29.25	11.88	111.50	5.00	33.50
第2学年	14.00	15.33	27.50	32.83	38.33	10.79	133.33	8.67	39.83	第2学年	13.00	19.00	25.50	34.50	37.40	10.24	127.75	6.20	45.67
第3学年										第3学年	10.67	20.00	33.00	36.67	28.00	9.81	150.67	9.67	48.33
第4学年	16.00	18.33	28.00	39.00	43.00	10.22	139.67	22.33	48.00	第4学年	12.75	18.71	32.00	37.57	37.43	9.71	151.13	13.88	50.60
第5学年	17.50	27.50	38.00	48.00	75.00	9.88	150.00	14.00	63.00	第5学年	13.80	22.00	38.00	45.50	66.50	9.57	165.75	13.80	61.25
第6学年	24.33	25.00	36.33	53.67	106.67	8.50	193.67	29.00	70.00	第6学年	21.89	29.78	42.00	50.56	91.78	8.63	179.00	22.22	71.89

県平均値かつ全国平均値未満

平成31年度新体カテストの結果（県平均値（平成31年度）・全国平均値（平成30年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシットルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシットルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	8.00	11.50	28.50	31.25	27.33	11.67	115.25	6.75	33.67	第1学年	6.75	11.50	30.50	29.25	29.25	11.88	111.50	5.00	33.50
第2学年	14.00	15.33	27.50	32.83	38.33	10.79	133.33	8.67	39.83	第2学年	13.00	19.00	25.50	34.50	37.40	10.24	127.75	6.20	45.67
第3学年										第3学年	10.67	20.00	33.00	36.67	28.00	9.81	150.67	9.67	48.33
第4学年	16.00	18.33	28.00	39.00	43.00	10.22	139.67	22.33	48.00	第4学年	12.75	18.71	32.00	37.57	37.43	9.71	151.13	13.88	50.60
第5学年	17.50	27.50	38.00	48.00	75.00	9.88	150.00	14.00	63.00	第5学年	13.80	22.00	38.00	45.50	66.50	9.57	165.75	13.80	61.25
第6学年	24.33	25.00	36.33	53.67	106.67	8.50	193.67	29.00	70.00	第6学年	21.89	29.78	42.00	50.56	91.78	8.63	179.00	22.22	71.89

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 男子  
「50m走」「ボール投げ」の記録で県平均・全国平均を下回っている児童が多い。
- 女子  
「握力」「ボール投げ」の記録で県平均・全国平均を下回っている児童が多い。
- 共通  
運動やスポーツを行う時間が30分未満の児童の割合が21%いる。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 「50m走」 →業間体育で行うサーキット運動で50m走の場を設定する。  
→ドリームタイムを活用して、体力向上のための目標を明確に持たせる。
- 「ボール投げ」 →業間体育で行うサーキット運動で発達段階に合わせて、使うボールの大きさや重さを変更する。特にジャベボールを使用して正しい投球フォームの指導を行っていく。
- 運動時間の増加 →週に1回全校遊びを開催していく。  
→大休憩前の業間体育を週2回継続的に行う。また、サーキット運動、縄跳びに加え、楽しさを味わうことのできる運動の紹介を行っていく。

令和2年度の目標値

- 新体カテストの総合評価EDの率を5%以下にする。
- 「50m走」の記録を伸ばす。計3回の記録会（6月、9月、11月）を行う。
- 「ボール投げ」の記録を全国平均以上にする。
- 一日の運動時間30分未満の児童の割合を10%未満にする。